

学校教育目標

一人一人の個性の開花 ～自ら学び ともに磨き合い 自らを生かす～

目指す子ども像

- 自ら課題を見つけ、話し合い、解決に向けて自主的に行動できる人
- 意欲的に学ぶ姿勢を身につけている人
- 自他の良さや違いを認め自分も大切にできる人
- 自分の体力や健康に関心を持ち運動に親しむ人
- 自分にできることを増やし、周りの人と積極的に関われる人

令和3年度コンセプト

- ダイバーシティ(多様性)&インクルージョン(受容)
- 間違ってもいい学校・失敗してもいい学校

校訓

己を重んじ 己を伸ばす 友を敬し 友に学ぶ

生徒会がめざす姿

間違ってもいい、失敗してもいいから、
チャレンジし続ける鹿北中生

挑戦とステキな失敗
合言葉「Try & Error」

小規模特認校として

社会で自立して生きていくための基礎基本を身につけることができる「鹿北の学び」の魅力を発信する

義務教育課取組の方向

- 1 「熊本の学び」の推進
- 2 英語教育の充実 など

市教委指導の重点

- 1 「命」を輝かせる教育
- 2 「志」を育てる教育
- 3 「生き抜く力」を育む教育

こんな実践を・こんな力を

学習指導要領で育む資質・能力

- 実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
- 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力など」
- 学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」

見える学力

見えない学力

基礎学力・基礎体力の育成

学力向上

- 英・数・理での個別支援充実・徹底
- 個に応じた家庭学習の習慣化を図る
- 単元テスト及びプレテストによる、自立した学習者の育成

体力・耐性強化

- 目標を明確にした朝のトレーニング
- 本当の達成感を味わえる中体連大会
- 部活動の学びを日常生活に生かす
- 新生活様式徹底

社会人基礎力の育成・活用

表現活動

- 読書を通して、感動や思いを言葉や文字で表現する取組
- ビブリオバトル開催
- 小さな親切運動・震災復興の取組など

探究活動

- 総合的な学習の時間などを通して社会との接点での学び充実
- かほく未来会議を通して地域貢献活動
- 保小中連携の新たな企画提案と実行

生徒会活動

- ゼロから1を生み出す創造的な取組
- try & Error ができる空気感を創る取組
- 総務委員+班長による課題解決活動など

話し合い活動

- 話し合い下敷き活用
- 様々な場面、集団での話し合いを通してスキルアップを図り民衆的集団の質を高める。
- 思いを伝え合うなかまづくり・学校づくり

こんな学校に・こんな先生に【鹿北の学びの土台】

- 生徒を「育てる」学校から、生徒が「育つ」学校へ
- 先生が「教える」学校から、生徒が「学ぶ」学校へ
- 多様性が尊重され、「ありのままを受け入れることができる」学校へ

- 生徒のやる気に火をつけることができる先生
- 子どもたちの頑張りが見える、喜びや悩みを共有し、責任転嫁しない、決してあきらめない。そして、一人一人が魅力ある生き方のできる先生
- 「木は光を浴びて育つ。人は言葉を浴びて育つ」と言われるように、生徒が育つ言葉を発することができる先生

生活・学習の基礎基本の徹底期				自治力・社会人基礎力育成期		社会人基礎力活用期		
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
Ⅰ期				Ⅱ期		Ⅲ期		

鹿北小・中学校一貫教育(4・3・2制)の7年目～9年目の教育活動

「せせらぎ」から「清流」へ 山あいの町、鹿北を流れるせせらぎは、やがては清流となり、ついには大海原へと至る。鹿北の子どもたち一人ひとりも、いずれは大きな世界へと羽ばたいていく。その基礎を磨くのが鹿北小・中学校である。